

- 1 教育目標 笑顔と元気 思いやりでActive^{アクティブ}に行動するたくましい児童の育成
～考えたい 学びたい 関わりたいを大切に～

2 学校経営方針

「新学習指導要領」をはじめ、国・県・市がめざす学校教育ビジョンの方向性を踏まえ、本校の重点目標（つきたい資質能力）を設定し、その達成に努める。そのために、知徳体の調和のとれた教育活動の推進を図る。

これまで学んだ事をもとに自分でじっくり考え【静】、他者と関わりながら主体的に（見通しをもって 積極的に 粘り強く）課題を解決【動】していくたくましい児童を育てたい。そのために、学びの土台となる落ち着いた学習環境と児童が「～したい」と主体的・対話的で深い学びへの授業改善が欠かせない。また、他者と関わるために大切な思いやりの心・コミュニケーション力も育てていきたい。

3 目指す児童像

- ◇よく考え はげむ子 <他者と関わりながら 主体的に（見通しをもって 積極的に 粘り強く）>
- ◇心豊かで やさしい子 <思いやりの心でコミュニケーション>
- ◇たくましく やりぬく子 <あきらめず 継続>

4 目指す教師像

- ◇児童・保護者・地域・同僚と笑顔で挨拶し、コミュニケーションを大切にする教師
- ◇学習指導・生徒指導の専門性を身につけるために主体的に学び続ける教師
- ◇組織の一員としての自覚をもち、報連相（記録・確認）を大切にする教師

5 今年度の重点

- (1) 学校力を強化する（One team Asahi 役立つ自分を意識）
- (2) 確かな学力を定着する（全教科でつきたい資質能力を意識）
- (3) たくましくしなやかな心と体を育む（メディアコントロールを意識）

6 各重点ごとの主な取組と検証

- (1) 学校力を強化する（One team Asahi）

① 人材育成（役立つ自分を意識）

- ・学校運営組織への主体的な参画（＋αの仕事と周囲への声かけを心がける）
- ・若プロや自主研修への主体的な参加（共に学ぶ）

② 開かれた学校づくり（連携を意識）

- ・幼保小、小小、小中連携の実施（七尾モデル）
- ・家庭との連携（メディアコントロール）
- ・地域との連携（地域の人材や施設の活用 ふるさと教育）

検証 ☆朝日小のためを考えて行動している教職員が
 80%以上
 ☆時間外勤務時間が80時間を超えている
 教職員が0%

③ 落ち着いた学校づくり

- ・環境の整備（整理整頓 定期的な安全点検と即改善）
- ・働き方の整備 申請定時退校日の設定 文書のペーパーレスと簡略化
（退校目標時刻 18:30 19:00を過ぎる時は業務内容を報告）

（2）確かな学力を定着する（全教科でつきたい資質能力を意識）

① 主体的・対話的で深い学びを推進

- ・静（自分で）と動（他者と）を意識した授業づくり
- ・児童の発話＞教師の発話
- ・指導と評価の一体化

② 学習のきまりの定着

- ・聴く、聴き合う指導の徹底
- ・足ピタで学習の姿勢の徹底

③ 語彙力の向上

- ・学校図書館の充実と読書指導の推進
- ・毎月の暗唱の推進

④ 特別支援教育の充実

- ・個に応じた支援体制 校内委員会の定期的な開催
- ・ユニバーサルデザインの視点

⑤ 未来を支える教育の推進

- ・英語教育（教科化） プログラミング教育 キャリア教育（キャリアパスポート）

検証

☆単元テスト80点以上が80% 平均85%

☆検証問題 【複数教科を組み合わせ、情報を活用しながら解決に生かす問題】

（3）たくましくしなやかな心と体を育む（メディアコントロールを意識）

① プラス1挨拶の推進

- ・挨拶はコミュニケーションの第1歩の意識（いつでもどこでもだれにでも）
- ・横断歩道でドライバーに振り返って感謝の礼（七尾モデル）

② いじめを見逃さない取組（いじめ対策チームの常設）

- ・報連相、記録、確認

③ 基本的な生活習慣の改善

- ・自分の体調を意識（体調チェック）
- ・歩くことの奨励「少しでも歩いて登下校1キロ大作戦」 全校ラジオ体操の実施
- ・メディアコントロールの日の設定（行事前ノーゲーム）
- ・学活の時間に年間2回、メディアリテラシー教育の実施

④ 道徳教育の推進

- ・問題解決や体験的な学習を取り入れ、「考え 議論する」道徳教育を推進
- ・道徳の授業公開

⑤ 体力の向上

スポチャレいしかわと体カアップ1校1プランと連動 全校統一体幹トレーニング

検証

☆メディアコントロールを意識している児童・保護者が80%

☆